

Ⅳ………考えてみようお金のこと

借金には「利子」がかかります

社会人1年生のトモミさんとマリコさん。初任給をもらって初めてのゴールデンウィーク。二人は先輩からハワイ旅行に誘われました。費用はお小遣いなども含めて30万円くらいかかるそうです。働きはじめたばかりの二人には、まだ貯金はありません。それぞれ一人暮らしなので、家賃や食費など生活にお金もかかります。

トモミさんは、残念ながら今回の旅行をあきらめることにして、次回の旅行のチャンスに向けて貯金をすることにしました。

一方、マリコさんは、どうしても今回の旅行をあきらめることができません。消費者金融で30万円を借りて旅行に行くことにしました。

あなたならどうしますか？

マリコさん派？



トモミさん派？



毎月同じ金額ですが…

マリコさんは、旅行に行くため消費者金融で30万円借りました。金利は17.8%でした。毎月の生活にさほど余裕のないマリコさんは、毎月の返済額は1万円程度にしたいと伝えたところ、毎月の返済は**10,815円**、返済期間は36ヶ月となりました。

マリコさんが、この計画により返済すると3年間で払う利子は**89,340円**です。

知るぽると(金融広報中央委員会)
「今すぐシミュレーションしてみよう!」による
<http://www.shiruporuto.jp/tool/sikin/menu/index.html>

もし何らかの事情で支払が滞ると、マリコさんの信用情報にその情報が残ります。次にローンを組む際に影響が出る可能性もあります。

一方のトモミさん。

ハワイ旅行のため毎月**10,815円**ずつ貯金することとしました。トモミさんが、返済を終えるころには**389,340円**の貯金ことができました。おみやげがたくさん買えそうですね。



「カードは便利!」でもどんどん使っていたら…

クレジットカードの利用＝借金

テレビなどで、様々なクレジットカードのCMを見かけます。手元にお金がなくても買い物ができる便利さや、ポイントの活用などが紹介されていてとても魅力的です。

「クレジット」とは、「信用」という意味です。「信用」があればこそ手元にお金がなくても買い物ができるのです。

クレジットカードを利用する買い物は「借金」と同じことです。「クレジットカードでの支払」はなんとなくかっこよく見えますが、「借金」となると慎重になりませんか。

支払のことを考えず、無計画にクレジットカードを利用した買い物を続けていると残高がどんどんふくらみます。

支払ができなくなると、その情報は※個人情報機関に登録されます。安易なクレジットカードの利用が、あなたの「信用」を損ない、「カードが作れない」「ローンが組めない」など、将来に大きな影響を与えかねません。

クレジットカードを利用する際には、支払える金額かどうか、手数料はどのくらいかかるのかを確認しましょう。

届いた請求書の内容をよく確認し、期限までには支払うようにします。

クレジットカードの管理はしっかりと。身に覚えのない請求が届いたら、すぐカード会社に連絡しましょう。**カードは他人に貸してはいけません。支払義務はカードの名義人にあります。**紛失や盗難にあった場合は不正使用されないように、すぐ警察・カード会社・個人情報機関に連絡しましょう。

3回以上の分割払い・リボ払いでは、金利手数料がかかります。

「なるべく貯金して買う」姿勢でいることが、長い目でみればもっともお得です。時間をおくことで冷静になり、無駄な買い物を防ぐ効果もあるのではないのでしょうか。

カードトラブルいろいろ

カードを作ったのがうれしくて次々カード払いにしていたら支払ができなくなりカードが使えなくなった

リボ払いは月々の支払を一定額に抑えられる支払方法ですが、支払残高が減りにくく支払期間が長期化しやすいことから手数料がかさんで総支払額が膨らむことがあります。気をつけましょう。

久しぶりに通帳を見たら、覚えのない引き落としがある

「使った分は後で返すから」というので友達が買い物をするのにクレジットカードを貸したがお金を返してくれない

手持ちの現金がなく、インターネットで知った事業者に言われるがままクレジットカードで買った商品を渡し、現金に変えようとしたが振り込まれない

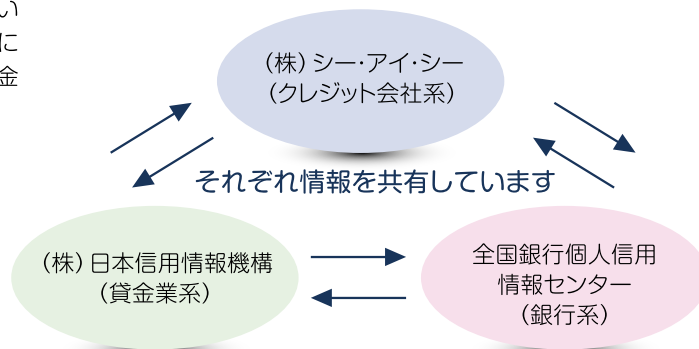
「バイバイ」

返してもらってない!!

あの時〇子にカードで立て替えた分の請求だけ!

ATM 残高照 入ってない…

代表的な個人情報機関



※個人情報機関
クレジット会社・貸金業者・銀行が、本人の個人識別情報(氏名・年齢・生年月日・住所・電話番号など)・契約情報(契約日・金額・返済回数など)・その他(支払状況)を記録しています。